



令和8年度 5つの 主要施策

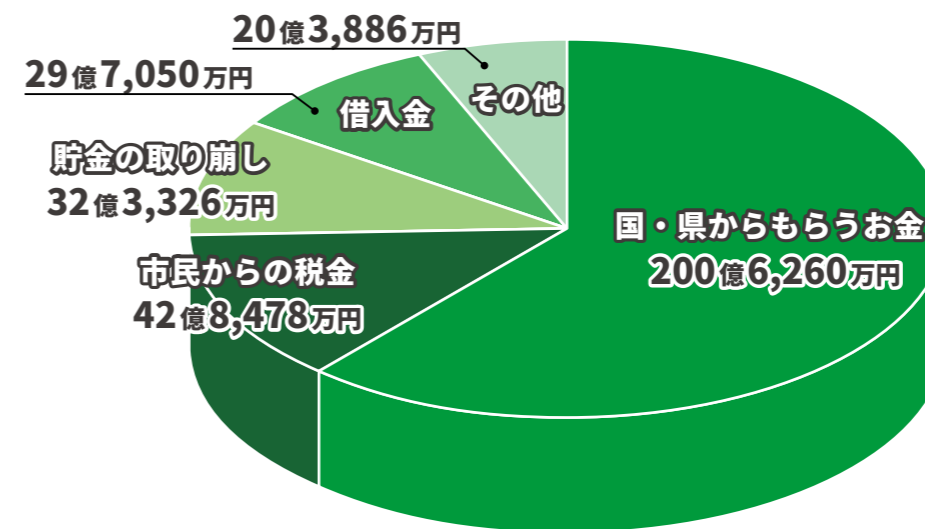


令和8年度当初予算は、市の重要課題である人口減少の抑制と人口減少に対応した持続可能な地域づくりの実現に向け、「ゆざわに住んで、よかった。生まれて、よかった。」という地域ビジョンを定めた「第3期湯沢市総合戦略」に掲げる取組みを着実に推進することを基本方針として編成し、前年度当初予算と比較して20億390万円増の総額325億9,000万円となりました。

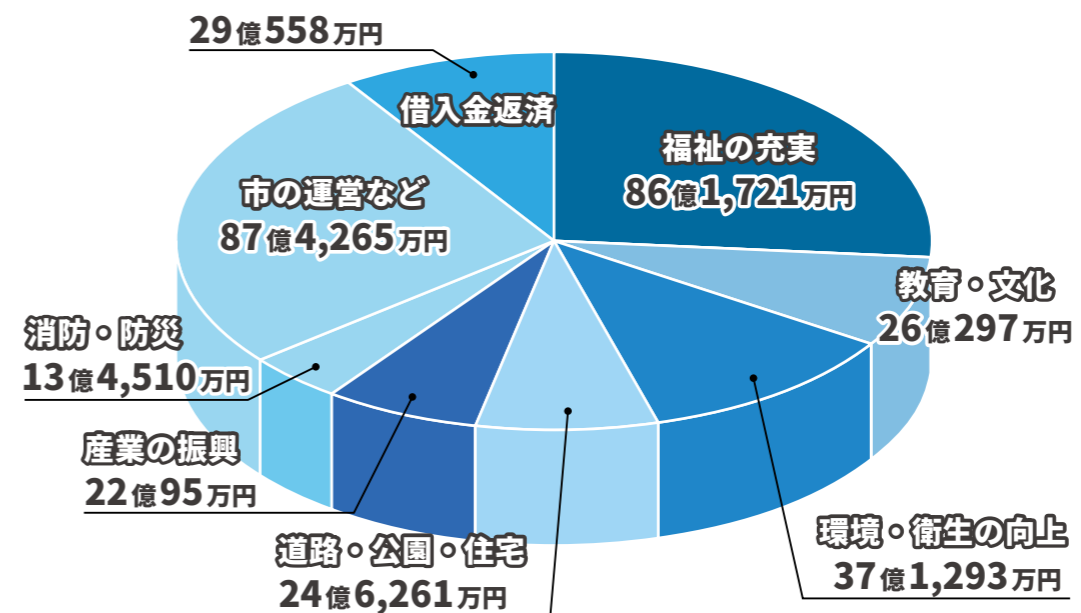
歳入予算では、経済活動の回復基調が続く中で、賃上げや米価の上昇などに伴う課税所得の増加によって、市税収入が前年度を上回る見込みとなりました。また、歳出予算では、にぎわい拠点の創出に向けた湯沢駅周辺複合施設などの整備費、子育てに係る経済的負担の軽減や子育てしやすい環境の整備費、医療提供体制機能の確保・維持など、5つの主要施策を柱とした予算としています。

問 財政課財政班 (☎73-2114)

歳入 合計 **325億9,000万円** 前年度比 +20億390万円



歳出 合計 **325億9,000万円** 前年度比 +20億390万円



1 子ども・子育て支援や若者支援

子育てに係る経済的負担の軽減や子育てしやすい環境の整備に取り組み、「子どもも親も笑顔で暮らせるまち」を目指すとともに、出会いや結婚、移住・定住を推進するため、未来をつくる若者を支援します。



拡充 **不妊症・不育症治療費助成** 318万円

経済的負担を感じることなく安心して治療を受けていただくために、一般不妊治療と特定不妊治療の補助上限額を引き上げるなど、不妊症・不育症の治療にかかる費用の一部を助成します。



継続 **妊産婦・子どもへの医療費助成** 1億6,626万円

「産む前も」「産んでからも」安心して子育てができるよう、医療保険が適用される医療費の自己負担分を全額助成します。

継続 **若者世帯住宅取得費用助成** 2,500万円

未来を創る若者の市内への定住および移住を支援するため、新規住宅取得費用の一部を助成します。

4 持続可能なまちづくりの推進

共助による高齢者支援や移動手段の確保、地域づくり活動への支援など、活力ある地域づくりへの取組みのほか、デジタル技術を活用した地域課題の解決や市民サービスの向上により、人口減少に対応した持続可能なまちづくりを推進します。



新規 **新たなオンデマンド交通運行計画策定** 643万円

地域の特性や利用者のニーズに応じた持続可能な公共交通体系の確立を目指し、国が示す地域公共交通の「リ・デザイン（再構築）」に沿った、効率化と利便性向上を実現する新たなオンデマンド交通の導入に向けた運行計画を策定します。

継続 **地区センターの整備** 2億5,115万円

地域づくりの活動拠点である地区センターの機能の充実を図るため、公共施設再編計画に基づき整備を進めます。



駒形地区センターとして活用を予定している旧駒形小学校の校舎

5 安全安心な暮らしの確保

大雨や豪雪、地震などの災害に対して迅速に対応できる防災力の強化を図るとともに、医療機関との連携により医療の維持、充実を図り、安全安心な暮らしの確保に努めます。



拡充 **消防団員の報酬** 4,790万円

地域に密着した防災力の中心的な役割を担う消防団の安定した活動を支援するため、消防団員の年額報酬を改定しました。

新規 **防災マップ作成** 604万円

洪水浸水想定区域等の情報を更新した新たな防災マップを作成し、全世帯に配布します。



拡充 **救急医療対策運営費助成** 7,927万円

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るため、救急告示病院に対し、救急医療に要する経費の一部を助成します。

2 にぎわい創出と生きがい活動の充実

湯沢市複合公共施設を核に、趣味や生きがい活動の充実や学習機会を提供するとともに、にぎわい創出による中心市街地の活性化を図るほか、地域と連携を図り、東北中央自動車道の全線開通を見据え、道の駅おがちの機能強化による地域一体の活性化を目指します。



複合公共施設「Yuinas ～ゆいなす～」外觀イメージ

拡充 **湯沢市複合公共施設「Yuinas ～ゆいなす～」を核とする中心市街地の活性化** 37億9,191万円

まちの顔である湯沢駅周辺に多くの人が集い、学び、憩い、交流する湯沢市複合公共施設の建築工事のほか、湯沢生涯学習センター等跡地への多目的広場などを整備するための設計や調査を行い、まちの魅力や回遊性、利便性などを高め、湯沢駅前を起点とした“まちなか全体の活性化”を図ります。

継続 **道の駅おがちの機能強化による地域一体の活性化** 544万円

東北中央自動車道の全線開通を見据え、道の駅おがちのリニューアルを実施し、道の駅の機能強化・利便性向上による来訪者の増加、観光交流人口の拡大および地域全体の活性化を図ります。令和8年度は外部専門家からアドバイスや提案を受けながら計画や事業の手法を決定し、事業者選定に向けた作業を進めます。



道の駅おがち

3 雇用の創出と産業基盤の強化

企業誘致の推進による雇用創出や新たな産業団地の整備のほか、農林業や地場産業の振興を図り、産業基盤を強化します。また、多様な媒体を活用した国内外への情報発信や観光プロモーションに取り組み、インバウンドを含めた観光誘客を促進します。

継続 **ふるさと企業への支援** 1,210万円

市内の中小企業者、小規模企業者が行う設備投資、技術の継承を支援することにより、持続的発展による地域雇用の安定を図ります。



継続 **J-クレジット創出事業** 1,882万円

適切な森林管理などによるCO2吸収量を国が「クレジット」として認証し、売買できる制度<J-クレジット>を活用し、CO2を排出する企業などへ売却することにより、経済と環境の好循環を生み出し、企業などの脱炭素化を後押しします。



被害防止のため設置した電気柵

拡充 **有害鳥獣被害対策事業** 4,492万円

農作物や農業者への被害防止のための電気柵の設置、クマを誘引する樹木の伐採および処分に係る費用を助成します。また、鳥獣被害対策実施隊員に対する報酬の支給、猟友会や捕獲活動（おりの設置、撤去、巡回、有害捕獲）に対する助成のほか、有害鳥獣の人里への侵入を防ぐための緩衝帯整備を実施します。